

北海道浮魚ニュース

平成13(2001)年度 19号 (通巻 No.112)

2001年9月25日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

北西太平洋サンマ南下期調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたサンマ南下期調査の結果をお知らせします。

調査期間: 2001年9月13日~20日

調査海域と調査点(図1): 道東太平洋(40°30'N~42°20'N, 143°30'E~145°00'E)
の11調査点(漁獲調査は6点)

調査方法: 9種類の目合(22,25,29,37,48,55,63,72,82mm)の流し網を用いた漁獲試験

表面水温(表1)

調査海域の表面水温は12.9~19.6で、昨年より約3~4低めでした(昨年と調査海域が共通するST.1,10,11で比較)。

漁獲尾数(表1)

流し網調査によるサンマの総漁獲尾数は8,125尾で、調査海域が昨年と異なるため単純に比較できませんが、昨年(608尾)を大幅に上回りました。調査1回流し網1反あたりの漁獲尾数*も96.5尾と昨年(6.2尾)を大きく上回りました。

調査点別に見ると、表面水温が12~15台のST.1,9,11で漁獲が多く、水温が高いST.3,5,7では、あまり漁獲されませんでした(ちなみに、この時期のサンマ棒受網船の漁場水温は、14~15台です)。

漁獲が少なかったST.3,5,7と比較すると、水温が最も高かったST.7で最も多く漁獲されました。これは、サンマが主に沿岸を南下しているからだと思います。

*流し網目合22~48mmの漁獲尾数から算出

体長組成(図2)

流し網で漁獲されたサンマの体長範囲は、17~34cmでした。

銘柄別に漁獲尾数を比較すると、31cmにモードがある特大・大型魚が全漁獲尾数の56%を占め、27cmにモードがある中型魚が40%、小型魚・ジャミが4%でした。

銘柄別のモードを昨年の同調査と比較すると、今年の方が、特大・大型魚で2cm、中型魚で1cm小さくなっています。

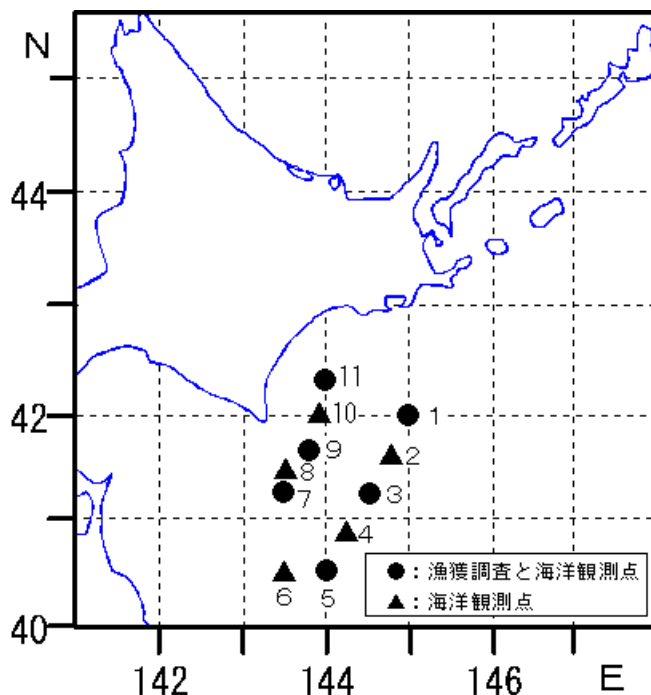


図1 サンマ南下期調査点図

今回の調査結果を含めた各調査機関の資料を基にして、10月初旬に「北西太平洋サンマ長期漁海況予報 漁期前半の経過と後半の見通し」が発表される予定です。

(文責：釧路水試 資源管理部 直通電話：0154-23-6222)

表1 サンマ南下期調査結果

ST	調査日	位 置		水温 ()			サンマ漁獲尾数							
		北緯	東経	0m	50m	100m	22ミ	25ミ	29ミ	37ミ	48ミ	55ミ	63ミ	合 計
1	9.14	42-00	145-00	12.9	4.5	1.8	2	13	478	1,485	498	7	0	2,483
2	9.14	41-37	144-45	16.6	5.8	1.2	-	-	-	-	-	-	-	-
3	9.15	41-15	144-30	17.0	2.4	1.1	0	0	0	5	0	0	0	5
4	9.15	40-52	144-15	15.7	5.0	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-
5	9.16	40-30	144-00	18.5	6.5	6.2	0	0	0	2	0	0	0	2
6	9.16	40-30	143-30	18.7	10.8	6.4	-	-	-	-	-	-	-	-
7	9.17	41-15	143-30	19.6	13.5	3.1	2	0	11	23	5	0	0	41
8	9.17	41-27	143-32	17.3	11.2	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-
9	9.18	41-40	143-50	15.2	1.8	2.6	0	4	128	105	82	1	0	320
10	9.18	42-00	143-55	13.9	2.7	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-
11	9.19	42-20	144-00	14.8	4.4	2.1	0	6	1,434	2,707	1,117	9	1	5,274
合 計							4	23	2,051	4,327	1,702	17	1	8,125

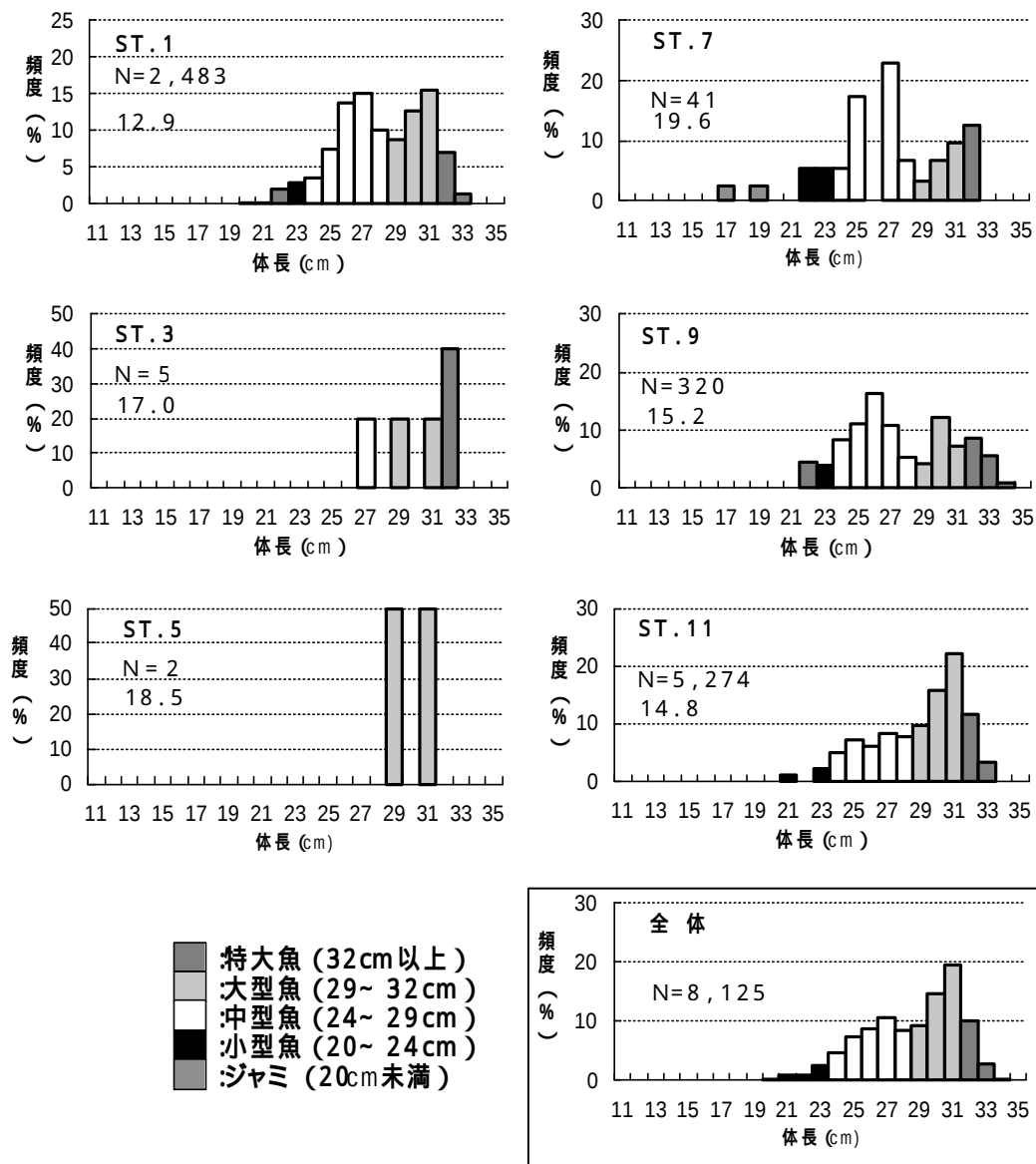


図2 サンマ南下期調査の調査点別体長組成
(Nは漁獲尾数，下段は表面水温)